

4 段階評価	4 期待以上	3 ほぼ期待どおり	2 やや期待を下回る	1 改善を要する
--------	--------	-----------	------------	----------

学校経営 ビジョン	笑顔で登校 笑顔で下校 思いやりあふれる永久津っ子の育成 ～ 学校・家庭・地域が一体となって146年の絆のかけはしをつなぐ ～
--------------	--

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	具体的な 数値目標等	具体的な取組		自己評価		結果の考察・分析および改善策
			【学びたい度 75% (H30 72%)】	取組別	総合		
知育	<p>【目標】学力向上 (子どもの将来を見据えて今の学びを考える)</p> <p>◎ 児童主体の「楽しく」「分かる」「できる」授業をめざし、これからの社会の変容を意識し、児童の将来を見据え責任をもった学習指導を展開することによって、学力のさらなる向上を図る。</p> <p>【手段・具体的な取組】</p> <p>1 主体的・対話的で深い学びの創造と確実な振り返り</p> <p>2 職員相互の認め合いと学び合い</p> <p>3 立腰指導の徹底と基本的学習習慣の定着</p> <p>4 家庭学習習慣の定着と放課後子ども教室との連携強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかる」まで教え、できるまで「見届ける」授業 ・Web 学習単元評価システム活用 100% ・年間1回以上の授業公開 ・CRT前年度比3ポイントアップ ・児童の自己評価(立腰)80%以上 ・鉛筆の正しい持ち方80%以上 ・家庭学習の実態調査による定着度の個人評価80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間の授業の充実、指導内容の精選、指示や発問の工夫に取り組んでいる。 ・現段階での活用率100% 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「めあて」に始まり、「まとめ」で終わる授業の流れを意識して実践できた。今後は「個々の教師の授業に対するチェックポイント」も意識して、指導していきたい。 ○ 業間にWeb単元テストを実施することが、この活用率につながっていると考えられる。今後は、復習などのさらなる活用を図ったり、個に応じたきめ細かな指導を行ったりする必要がある。 ○ 全員が公開授業を実施し、授業改善・授業力向上を図ってきた。(国語) ○ CRTテストについては、1月実施のため、実施後に分析を行い、指導に役立てていきたい。 ○ 立腰については、指導を行ったが、目標値を達成することはできなかった。再度職員での共通理解を図り、授業での積極的な言葉かけを行い、児童の意識化を図っていきたい。 ○ 鉛筆の持ち方については目標に達することができなかったが、今後も継続し、80%以上を目指したい。 ○ おおむね目標を達成でき、全体的によく取り組んでいる。今後は個別の指導を充実し、児童の自己評価100%を目指していきたい。 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・全員が授業公開を実施(国語)職員相互の学び合い ・校時程に学力向上のための時間を設定し取組を継続している。 <p style="text-align: center;">※ CRT 1月実施</p>	4			
			<ul style="list-style-type: none"> ・月目標に設定し、全体指導や学級での指導を継続した。 ※児童自己評価：66%(とてもよい、よい) ・5月調査 44% ・7月調査 49% ・10月調査 53% ・12月調査 59% ・2月調査 65, 7% 	3			
			<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、「親子読書週間」を設定し、保護者の協力を得ながら家庭学習の充実に取り組んでいる。 ・12月アンケート 児童：93% 保護者：74% 教職員：83% 	2			

徳育	<p>【目標】豊かな心の教育推進 (生徒指導3機能生かした認める指導と体験活動の充実)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティア活用年間700人 	<ul style="list-style-type: none"> ・2月末現在 976人の活用読み聞かせ、学習支援など 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ KSSVCなど、地域の方々の協力を得ることで、児童にとって豊かな心を育成する体験活動を行うことができた。(米作り、昔の遊び、凧作り、保育士体験等) 今後も計画的に進めていきたい。
	<p>◎ 道徳や特別活動、こすもす科との関連を踏まえた体験活動の推進による、豊かな感性と思いやりの心の育成。</p> <p>【手段・具体的な取組】</p> <p>1 自己を見つめ、多面的・多角的な見方を育む授業の推進</p> <p>2 基本的生活習慣の意義を考えさせる指導と定着の推進)</p> <p>3 日本一の読書県宮崎の推進</p> <p>4 徳育集会・バースデイ給食による心のふれあい推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣に関する中学校との共通実践項目に関する児童の自己評価80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ指導 P立ち番指導 集団登下校 避難訓練 避難経路確認 風水害 地震 火災 雨の日の過ごし方 栽培活動 教育相談 IF委員会 清掃班会 清掃指導 ワックスがけ クラブ・委員会 	<ul style="list-style-type: none"> 3 3 3 4 4 3 3 4 3 3 3 3 3 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的生活習慣の定着については、学校全体また、各学級での繰り返しの指導と、児童自身にしっかりと物事に対して向き合い判断させることを重視した指導を行ってきた結果、定着がうかがえる。 ○ 規範意識をもつての指導は大切であることを踏まえ、「〇〇してはいけません」ではなく、「こんな時はどう考えてどのように行動していけばよいか」を考えさせながら行動させていく指導は今後も継続していきたい。 ○ 大きな不登校やいじめの問題は現在のところないが、学校は常に児童の様子を細かく把握し、保護者や地域とも連携を図りながら児童理解に努め、積極的な生徒指導を推進していきたいと考える。
	<ul style="list-style-type: none"> ・年間一人50冊以上の読書量 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書担当教諭、学校図書館協力員による読書指導を継続して実施 ・図書委員会の取組により多読賞の表彰や読書推進活動として、読書ビンゴなど行った。 ・12月末現在：一人平均96冊 ※児童の自己評価68% 	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎週月曜日の朝の時間に、地域ボランティアの方々による読み聞かせを本年度も実施している。児童も楽しみにしている。読み聞かせの本の選定や回数を検討していく。 ○ 学校図書協力支援員が、図書の貸し出しや図書館設営を行っている。新刊図書を工夫して紹介するなど、児童の読書意欲を高める工夫を行ってきた。 ○ 12月現在、図書の総貸出冊数は6769冊で一人平均96.7冊である。さらに貸出冊数が伸びるよう、読書意欲を高めていきたい。 		

		<ul style="list-style-type: none"> ・バースデー給食を毎月実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、校長室でバースデー給食を実施している。 ※ 校長先生より、一人一人に直筆のバースデーカードをプレゼント 	4		毎月1回の実施を通して、心のふれあい行うことが出来た。
体育	<p>【目標】健やかな心体の育成 (生きる力の元となる健康・体力を意識して)</p> <p>◎ 体力向上プランを意識した授業・体育的行事・日常の体育的活動を通して、基礎体力の向上と健康的な生活習慣の定着を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テスト分析による改善方法の策定と実践 Tスコア50以上の割合 70%以上 ・体育授業に関する教師の自己評価 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テスト分析後、体力向上プランを策定し、体育の授業、授業以外の取組を実施 体力テスト結果：59% ・体育の授業で運動量を確保するなど授業改善に取り組んでいる。 教師の自己評価：100% 	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力テストの結果、児童の体力が県の平均と比べて高いことが明らかになった。しかし、DE評価の児童の割合が前年度よりも増えており、全体を通して体力の低下がみられた。 ○ 来年度は体育の授業を中心に体力向上の取組を図るだけでなく、家庭での取組について定期的取り組みを促す必要がある。今後、体力向上に向けた取組内容を検討していく必要がある。
	<p>【手段・具体的な取組】</p> <p>1 体力・運動能力の向上</p> <p>2 危険予知・回避能力の育成と地域・保護者との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練や安全点検に関する教師の自己評価 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な避難訓練や安全点検を実施 ※ 教師の自己評価：100% 	4		<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度当初に、避難経路や避難場所の確認をし共通理解をすることができた。 ○ いろいろなパターンの避難訓練を行うことにより、臨機応変に児童が自分で自分の命を守る意識を高めることができた。今後も、短い時間を使って避難体制をとる訓練をしていくことで、さらに効果が高まると期待される。
	3 保健指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・むし歯治療率 100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・2月末現在 むし歯治療率 52.9% ※ 治療が終わっていない児童への個別指導と保護者への治療の勧めを実施 	2		<ul style="list-style-type: none"> ○ 養護教諭や学級担任、委員会での取組でむし歯予防に努めることが出来た。しかし、むし歯治療率は52.9%にとどまっている。今後も個別の指導を行いながら更に治療率を高めていきたい。(平成30年度の治療率：60.9%)
	4 家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・全員出席 100日以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・2月28日現在 85日 	2		<ul style="list-style-type: none"> ○ 集会で全児童に呼びかけたり、保健だよりで健康管理について啓発を行ったが、昨年度に比べて欠席0の日が少なかった。今後は養護教諭と学級担任が連携を図り、換気や手洗い・うがいを呼びかけるようにしたい。

食育	<p>【目標】望ましい食習慣の育成 (食は生きる源)</p> <p>◎ 様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができる基礎を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業体験や食育の日と関連した家庭科授業の実施 ・ 学校支援ボランティアとの連動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5年総合的な学習の時間 米作りを実施 ・ 1・2年生活科 学校支援ボランティアを活用し芋作りを実施 ・ 6年生は、JA主催のそばプロジェクト(種蒔き・収穫・そば打ち体験) 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の営農組合、JAの方、学校支援ボランティアの方の協力で、実施できた。 ○ 低学年では、生活科で芋作りを実施した。 ○ 5年生の総合的な学習の時間に米作りを実施した。天候の関係で稲刈りは実施できなかった。総合的な学習の時間で行うのであれば、児童が米作りにもっと関わられる方法(例えばバケツ稲)で行ってはどうか。 ○ 6年生は、JA主催のそばプロジェクト参加し、家庭科の授業でそば打ち体験を行った。
	<p>【手段・具体的な取組】</p> <p>1 伝統的な食文化や食習慣を振り返る授業の展開</p> <p>2 食育指導の充実</p> <p>3 HPによる情報提供(今日の給食コーナー)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食に関する児童の自己評価 80%以上 ・ 養護教諭による食育指導(全学年で実施) ・ 弁当の日3回、チャレンジクッキング2日実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食を中心とした食育指導を実施 児童の自己評価: 93% ・ 1学期、全学年で養護教諭・栄養教諭による食育の授業を実施 ・ 食育の日1回実施、チャレンジクッキング1回実施 	3		<ul style="list-style-type: none"> ○ 好き嫌いなく食べる児童が多く残食がほとんどなかった。日常の給食指導では学級担任を中心に食に関する指導の充実を図ってきた。 ○ 養護教諭・栄養教諭と連携して全学年で食育の指導を行うことが出来た。また、給食時の放送で郷土料理の紹介をすることで地域の料理や地元の食材など関心を高めることが出来た。年間3回の「食育の日」や長期休業中の「チャレンジクッキング」を実施し、各家庭で積極的に取り組んでいただいた。 ○ 地元の畜産農家の方々に来ていただき、交流給食を行うことで地産地消の良さや感謝の気持ちを育むことにつながった。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ HPによる情報提供(毎日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページに毎日記載 	3		<ul style="list-style-type: none"> ○ 食育に関する取り組みの様子をホームページで紹介するなど情報公開に努めた。
その他	<p>【目標】</p> <p>働き方改革に向けた業務改善</p> <p>1 業務の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間外勤務時間の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校行事の見直し ・ 校時程の見直し 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校行事等について全職員で話し合い、見直しを行ったことで、業務内容の改善につながった。

<p>次年度の方向性についての校長所見</p>	<p>本年度の取組内容については、ほぼ達成している状況であるが、体力・運動能力と虫歯治療率の向上に課題が見られたので、次年度は、さらに具体的かつ効果的な取組を模索していきたい。また、達成目標をより重点化し、職員のモチベーションを高め、多忙感や負担感の軽減にも努めていきたい。</p>
-------------------------	---

